

日刊



The Daily MANILA SHIMBUN

ASIAN INTERNATIONAL COMMUNITY INFORMATION, INC. (Printer-Distributor)

AICI, Manila Shimbun Building, 1037 Teresa Street, Rizal Village, Makati City

Since1992 in METRO MANILA

発行びすく社 東京都世田谷区玉川2-9-15

http://www.manila-shimbun.com

Yakult 一日一本健腸長寿

きょうの天気と気温 table with weather icons and temperatures for various locations like Manila, Baguio, etc.

外国為替 (2日) table showing exchange rates for USD, EUR, and JPY.

株価動向 table with stock market indices like Nikkei and TOPIX.

トップニュース (2日) table listing top news headlines.

大衆紙の話題 子供の前に母親殺 首都圏マニラ市サントアナの民家で7月31日夜、女性(37)が義父(62)に腹部などを刃物で刺されて死亡した。子供らと一緒に就寝中、義父に襲われたらしい。子供らの目撃証言によると、義父は酒に酔っていたという。女性の夫は海外出張中であつた。(2日・Pトゥナイト)

対ドル為替相場 42ペソに戻る 株価も下げる 1日に約3年3カ月ぶりに41ペソ台に突入したペソの対ドル相場は2日、前日比0.10ペソ安の1ドル42ペソ00ペソに引け、42ペソ

爆発で男性死亡、12人負傷 ミンダナオ地方マギンダナオ州コタバト市のバラングイ(最小行政区)ロサリ1ハイズで2日午後2時ごろ、爆弾が爆発し比人男性53が死亡。付近にいた5歳児を含む比人男女12人が負傷した。 国家警察コタバト署の調べでは、爆弾が起きたのは、拳銃販売店の駐車場。爆弾は駐車中のオートバイに仕掛けてあり、起爆には携帯電話が使われたという。 死亡した男性は駐車場前の道路を歩いていた。 爆発の約30分前、このオートバイを駐車した男性が目撃されているという。 犯行声明は出ていない。 拳銃販売店の店主は、2009年に同州で大量虐殺事件

台に戻った。大統領府は同日、続くペソ高に對してアキニ大統領が懸念を表明していると同様に、カランドン大統領府報道班長は、「測りかねない」として、大統領府がペソ高が比経済へ及ぼす影響の調査を指示し

と明らかにした。一方、比証券取引所(PSE)の総合株価指数は前日比9.30ポイント下落し4541.23。この日値を上げたのは7銘柄、75銘柄が値を下げ、44銘柄が変動なし。出来高は約45億7500万株、約50億ペソ。 口町で拉致されていた比人女性37が1日前10時半ごろ、同町内に置き去りにされていくのが見つかった。身代金10万ペソが武装集団に支払われたという。 調べでは、女性は1日、武装集団の1人とみられる男性にオートバイに乗せられ、同町の診療所に置き去りにされていた。

日系2世は「残留日本人」

比外務省、約300人認証へ

就籍と国籍確認に追い風

太平洋戦争のためフィリピンに残留された身元未判明の日系2世(残留日本人)が、戦後66年を経た現在もその日本国籍を確認できない問題で、比外務省はこのほど、これら2世を「残留日本人」として公的に認証することを決めた。3日には、第一陣となる2世6人に証書を初発給する予定。証書は今後、身元不明2世の戸籍を新たに作成し日本国籍保持の証とする。就籍申立に活用される。「残留日本人」という比政府のお墨付きが得られることで、「二世救済の最後の手段」と位置づけられる就籍手続きが、大きく前進しそうだ。 就籍などで2世支援を続ける特定非営利活動法人「比日系人リーガルサポートセンター」(PNLSC、東京都新宿区)によると、認定対象となる身元未判明の2世は、比国内15カ所にある日系人会の審査で「残留日本人」と認定された約300人。 審査は、日本の外務省が同センターに委託した第6次2世身元調査(2010年4月~11年3月実施)の結果などに基づいて行われ、比外務省側も2月、職員を日系人会に派遣して、審査や関係書類の管理が適正に行われていることを確認した。 約300人の認証は今後50人程度のグループに分けて進められる見通し。2世の高齢化で日本国籍確認前に死亡するケースが増えていることから、同センターは認証に必要な書類準備を急ぐ考え。 3日に認証証書を受け取る予定の2世6人は、いずれも就籍による日本国籍確認を希望している。4日からは身元の判明した2世1人ともども日本へ集団帰国し、就籍申立先の東京家裁での調査官面接や弁護士面談の際に同証書を提示する予定。 同センターの就籍支援活動は2003年から始まり、これまでに146人が東京家裁に就籍を申し立てた。しかし、証拠書類の不足などが壁となり、就籍許可が出たのは全体の4割強、63人にとどまっている。残り83人は申立継続中または再申立の準備中。 比各地で証拠書類や証言集めを続けてきた同センターの猪俣典弘事務局長は、「既に身元未判明2世の半数以上が止まらずに済んだのは、調査対象は、04年の正副大統領選と07年の上院選における不正疑惑、いずれも、中央選挙や地方選挙、軍・警察関係者による得票

日系2世(残留日本人)と日本国籍の確認を困難にしている。日本の外務省などによる実態・身元調査は1995年以降の16年間に計6回実施されたが、現在も約900人の身元が分かっていない。2003年から、就籍を通してこれら身元未判明者の日本国籍を確認する活動が始まった。就籍は無国籍あるいは戸籍の所在が不明な日本人を対象に、新たに本籍を設定して戸籍に名前を記載する制度。 調査対象は、04年の正副大統領選と07年の上院選における不正疑惑、いずれも、中央選挙や地方選挙、軍・警察関係者による得票



降雨のたびに洪水になる首都圏開拓局の洪水対策

首都圏開拓局の洪水対策。大雨により首都圏各地で洪水が発生した2日、カランドン大統領府報道班長は「落雷による故障を回避」

「気象レーダーを一時停止」 気象庁 首都圏および近郊州で激しい雨が降った2日、比気象庁は、ルソン地方サンパレス州スービックの観測所に設置されている気象観測機器、ドップラーレーダーの稼働を一時停止した。落雷による故障の危険性があつたため。 ドップラーレーダーは、雨雲の動き、風速や風向が正確に予測するほか、降雨量の動向などの予測も行

「前大統領の夫が所有」へり輸入した社長証言 上院委聴聞会 アロヨ前政権下で国家警察がヘリコプター2機を不正に水増し購入した疑惑で、

「対ドル為替相場」 株価も下げる 1日に約3年3カ月ぶりに41ペソ台に突入したペソの対ドル相場は2日、前日比0.10ペソ安の1ドル42ペソ00ペソに引け、42ペソ

「国家警察本部で火災」 2日前6時15分ごろ、首都圏ケソン市国家警察本部のスポーツセンターで火災が発生した。同市消防局などから消防車約15台が出動して消火活動にあたり、約1時間後に鎮火した。また同日午前11時ごろ、首都圏マリキナ市アンバラヤ通り沿いの民家でばやがあつた。約10分後に消し止められたが、出火原因などは不明。 卓球台などが置いてあつた事務所などがある1階へは延焼した。 また同日午前11時ごろ、

「訂正」 2日午後5時、ピサヤ地方サマール州オラス町沖北東94キロを震源とするマグニチュード(M)5.1の地震が発生した。震源の深さは41キロ。

「高同調査委を設置へ」 司法省と中央選挙 選挙不正疑惑解明で 着手することを決めた。合同記者会見を開いた「テリマ司法長官とブリーヤン

テス中央選挙委員長によると、委員会は司法省職員3人、中央選挙職員2人の計5人で構成される。早ければ15日の週明けにも設置される。 調査対象は、04年の正副大統領選と07年の上院選における不正疑惑、いずれも、中央選挙や地方選挙、軍・警察関係者による得票

「開発補助金」 支給を保証 大統領 2011年上半年分の優先開発補助金(PDAF、

「前大統領の夫が所有」へり輸入した社長証言 上院委聴聞会 アロヨ前政権下で国家警察がヘリコプター2機を不正に水増し購入した疑惑で、

「対ドル為替相場」 株価も下げる 1日に約3年3カ月ぶりに41ペソ台に突入したペソの対ドル相場は2日、前日比0.10ペソ安の1ドル42ペソ00ペソに引け、42ペソ

「国家警察本部で火災」 2日前6時15分ごろ、首都圏ケソン市国家警察本部のスポーツセンターで火災が発生した。同市消防局などから消防車約15台が出動して消火活動にあたり、約1時間後に鎮火した。また同日午前11時ごろ、首都圏マリキナ市アンバラヤ通り沿いの民家でばやがあつた。約10分後に消し止められたが、出火原因などは不明。 卓球台などが置いてあつた事務所などがある1階へは延焼した。 また同日午前11時ごろ、

「訂正」 2日午後5時、ピサヤ地方サマール州オラス町沖北東94キロを震源とするマグニチュード(M)5.1の地震が発生した。震源の深さは41キロ。